

北海道算数数学教育会小学校部会会報

第 94 号

さんすう

H21・9・10

北海道算数数学教育会
小学校部会発行

嬉々として学習に臨む姿を

第64回北海道算数数学教育研究大会運営委員長
砂川市立砂川中学校長 岩松秀昭

第64回北海道算数数学教育研究大会が、10月8日(木)9日(金)の両日に岩見沢市を会場に開催される運びとなりました。

小学校の公開が行われる、岩見沢市立東小学校、中学校の公開が行われる岩見沢市立東光中学校の両校は勿論のこと、岩見沢市内の先生方、そして空知管内の先生方が2年前から本大会の成功に向け準備に携わってこられました。夏休み期間中に、北数教小・中各部会の研究部の方々に講師をお願いし、「算数数学実践研修会 in 岩見沢」を岩見沢市教育研究所で開催したのが具体的な活動の最初でした。大会の準備で一番大切なのは、研究の進め方であると考え「算数数学の授業の在り方」「これからの算数教育」「私の算数数術」等をタイトルとした実践に基づく研修会を行ったのです。この研修会を皮切りに、小学校では岩見沢市立東小学校、中学校では岩見沢教育振興会数学部会、岩見沢市立東光中学校を中心に研修を深めてまいりました。また、大久保会長に直接講師をお願いし、貴重なお話を聞かせて頂いたこともあります。

私が、これらの研修会の折に参加していただいた皆さんに話をさせて頂いたことは、「自分たちは算数数学の授業が上手になりたいんだ。だからこうやって勉強するんだ」ということです。算数数学は、自分の「とらえ方」を大切にす学問です。研修という場で自分の教師としての質を高めることが大切です。お互いの実践を出し合うことで自分の授業を見直し、更に良い授業を創造しようという意欲とヒントを得ることができます。私は、算数数学の授業では、「自分」が常に主語でいたいし、教師であれ児童生徒であれ「自分」を主役にす授業でなければならないと思います。即ち、算数数学の授業場面で児童生徒が、筋道を立てて考えていく力を高めたり、

自分で実際に作業をしたり体験したりして算数数学の楽しさを味わったり、また、根拠を明らかにしながら相手に分かるように筋道立てて説明することで、一緒に学ぶ合うことの喜びを感じたりするなど、嬉々として学習に臨む姿を教師としての私は追い求めてきました。私は一教師として研究大会等の場面はとても大切だと思います。

ところで、私たちは小中一緒に研修会を開くことが何度かありました。これは、北数教の研究大会が小中高を一堂に会して行われる大会であり、小中高の12年間は人間としての人格形成の重要な時期を継続的にとらえることの意味は大きいと思います。私は本大会に関わるようになってから「義務」という言葉を使うことが多くなりました。「義務教育」ということなのですが、子どもが成長していく過程の中においてはこの9年間の教育に課せられた責任の重さを強く感じるようになったからだと思います。算数数学のようにステップアップしながらスパイラルに進められていく学問にとって大切な時期なのです。

今学校は新学習指導要領への移行期であり、北数教の研究主題も「豊かな心を育てる算数数学教育」から『「社会に生きる、社会に活かす」算数数学教育の探求』に変わりました。その根本となる理念は変わらないまでも、今までの算数数学教育をあらためて見直す良い機会なのではないでしょうか。

第64回北海道算数数学教育研究大会では、公開授業をご覧頂き、研究協議や領域・課題分科会で是非お互いの考えを交わして頂けたらと思います。また、多くの実践を重ねてこられた先生方が、一同に会して研究を交流し深めることで北海道の算数数学の明日がきっと発展することを確信しています。多数の方々のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第64回 北海道算数数学教育研究大会 空知・岩見沢大会

【特設授業 授業者・授業協力者・担当委員 一覧】

	単元・授業者	授業協力者	担 当 委 員
1 年	「ひきざん」 中川 克彦 岩見沢 東小 〔1年3組〕	中村 聡子 (岩見沢 東小) 鈴木 賢一 (岩見沢 東小) 島貫 静 (札幌 東苗穂小)	運営・司会 島貫 静 (札幌 東苗穂小) 記録 長 麻美 (岩見沢 第一小) 記録 富樫 良介 (札幌 二条小) 助言 東 喜章 (奈井江 奈井江小校長) 助言 近野 豊 (札幌 新琴似西小校長)
2 年	「かけ算」 関口 清吾 岩見沢 東小 〔2年1組〕	島頭 元子 (岩見沢 東小) 高田 洋史 (札幌 藻岩小)	運営・司会 高田 洋史 (札幌 藻岩小) 記録 山田 章子 (岩見沢 美園小) 記録 中山 秋仁 (札幌 拓北小) 助言 順毛 誠一 (由仁 由仁小校長) 助言 大江 則夫 (札幌 北白石小校長)
3 年	「かけ算の筆算(1)」 沢 泰宏 岩見沢 東小 〔3年2組〕	野田ますみ (岩見沢 東小) 長澤 孝次 (札幌 中沼小) 高橋 健一 (札幌 附属札幌小)	運営・司会 高橋 健一 (札幌 附属札幌小) 記録 高坂 毅 (岩見沢 日の出小) 記録 渡辺 寿恵 (札幌 厚別西小) 助言 中井 清一 (由仁 川端小校長) 助言 藤吉 晃 (札幌 屯田西小校長)
4 年	「わり算の筆算(2)」 伊丹 奈央 岩見沢 東小 〔4年1組〕	鹿野 哲子 (岩見沢 東小) 太田富貴子 (岩見沢 東小) 村上 友宏 (札幌 手稲中央小)	運営・司会 村上 友宏 (札幌 手稲中央小) 記録 佐藤 洸輔 (長沼 長沼中央小) 記録 佐藤 公亮 (札幌 苗穂小) 助言 砂川 昂之 (夕張 緑小校長) 助言 若山 明則 (札幌 西岡北小校長)
3・4 年 複式	3年「三角形」 4年「四角形」 辻脇 志郎 岩見沢 メープル小 〔3年・4年〕	戸来 友美 (岩見沢 東小) 末原 久史 (札幌 北光小)	運営・司会 末原 久史 (札幌 北光小) 記録 谷口 貴志 (岩見沢 北村小) 記録 大熊 隆子 (旭川 旭川第三小) 助言 丸田 俊行 (札幌 稲穂小校長) 助言 石原 学 (網走教育局義務教育指導班指導主事)
5 年	「分数の大きさと たし算ひき算」 有村 宏紀 岩見沢 東小 〔5年2組〕	猪又 陽子 (岩見沢 東小) 椿 弘幸 (岩見沢 東小) 黒澤 智美 (札幌 白楊小)	運営・司会 黒澤 智美 (札幌 白楊小) 記録 五十嵐史加 (岩見沢 志文小) 記録 湯澤 将武 (札幌 藻岩小) 助言 中村 義彦 (赤平 赤間小校長) 助言 広瀬 泰生 (札幌 太平小校長)
6 年	「単位数あたりの大きさ」 渥美 マリ 岩見沢 東小 〔6年1組〕	五十嵐正規 (岩見沢 東小) 森本夏緒里 (岩見沢 東小) 宮崎 英子 (札幌 日新小)	運営・司会 宮崎 英子 (札幌 日新小) 記録 長尾千鶴子 (岩見沢 東小) 記録 小野寺範子 (札幌 明園小) 助言 飯塚 泰久 (札幌 東札幌小校長) 助言 田中 賢一 (北海道教育庁義務教育課指導主事)
6 年	「単位数あたりの大きさ」 櫻田 和也 岩見沢 幌向小 〔6年1組〕	丹尾 春彦 (岩見沢 幌向小) 斉藤 敬二 (岩見沢 幌向小) 森井 厚友 (札幌 北都小)	運営・司会 森井 厚友 (札幌 北都小) 記録 木村 淳 (岩見沢 幌向小) 記録 佐藤 貴幸 (札幌 澄川小) 助言 池田 英司 (札幌 円山小校長) 助言 西村 聡 (空知教育局義務教育指導班指導主事)

1年生の授業

1. 大会授業の概略

- (1) 授業者 中川 克彦 (岩見沢 東小)
- (2) 単元名 「ひきざん」(十何一位数で繰り下がりのある減法)
- (3) 本時の概略 (2時間目/9時間扱い)

問題

おりがみが15まいあります。6まいつかいました。のこりはなんまいでしょう。

○式を立てよう・・・15-6

課題

15-6のけいさんのしかたをかながえよう。

10のまとまりをくずして、そこから6をとる。

まず、5をとって、のこりの1を10からとる。

自力解決

隣の人に自分の考えを説明する

↓

全体交流
(減数のとり方の違いについて交流する)

10のまとまりをくずすとひくことができる。

とって たす さくせん とって とって さくせん

2. 事前検討会での話題

- 1年生なりに既習を生かすことをさせていきたい。そのためには、本単元以前の単元で、10のまとまりを強く意識させていくようにする。
- 本単元を通して、タイルを用いて計算の意味や仕方を表す算数的活動を行う。
- 計算の仕方を考えるときには、どのように計算したかを説明する表現活動を行っていく。その際、「まず〜」「そして〜」「答えは〜」などの言葉を用いて順序立てて説明する。
- 相手に伝わる説明ができるようにするために、隣同士で交流する場を設ける。隣同士で説明し合うことで自分の考えをまとめ、自信をもって全体交流の場で説明できるようにしたい。
- 自分の考えを全体に伝える場では、「6をどこからとっているか」の観点で交流する。
- 全体交流や隣の人とのかかわり合いを通して、答えは同じでもやり方には違いがあることに気づかせていく。

(文責 札幌市立東苗穂小学校 島貫 静)

2年生の授業

1. 大会授業の概略

- (1) 授業者 関口 清吾 (岩見沢 東小)
- (2) 単元名 「かけ算」
- (3) 本時の概略 (3時間目/20時間扱い)

問題

ケーキが1つのおさらには○こずつのっています。おさらは□さらあります。ケーキはぜんぶで12こです。

課題

かけ算のしきであらわそう。

〈自力解決〉 絵・図をかいて タイルを使って

1さら○こにしようかな

同じ数ずつ

おさらのかずは□さらだから…

- 2個ずつ6皿分で $2 \times 6 = 12$
- 3個ずつ4皿分で • 4個ずつ3皿分で
- 5個ずつだと同じ数ずつにならないから…
- 6個ずつ2皿分で
- 1個ずつ12皿分 • 12個のせて1皿でも…

〈隣の友達と交流/全体交流〉

- 「1つ分の数」と「いくつ分」がきまれば、かけ算のしきにできるんだね。
- しきはちがうけど考え方は同じだよ。
- かけ算のしきにするとたし算とちがって、しきが短くてかんたんだね。

2. 事前検討会での話題

- 「1つ分の数」と「いくつ分」を自分で決め、それをもとに、かけ算のしきをつくるという算数的活動を設定することにより、かけ算の意味理解を深める1時間にしたい。
- 問題提示の工夫によって、「1つ分」と「いくつ分」に着目させ、どうしたらかけ算が使えるようになるのかという「問い」を生みたい。
- 絵や図、これまでの学習で慣れ親しんできたタイルを活用するなどの表現活動を大切にしながら、問題場面のイメージ化を図る。
- 隣の友達とのかかわり合い、全体でのかかわり合いを位置づけることにより、意欲を喚起する。また、本時のねらいや数学的価値に結びつく見方・考え方は、そのよさを全体に価値づけたい。

(文責 札幌市立藻岩小学校 高田 洋史)

3年生の授業

1. 大会授業の概略

- (1) 授業者 沢 泰宏 (岩見沢 東小)
- (2) 単元名 「かけ算の筆算(1)」
- (3) 本時の概略 (4時間目/15時間扱い)

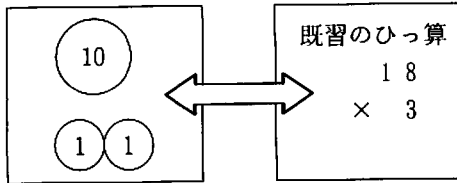
問題

1まい□□円の写真が3まいあります。
代金は何円ですか。(写真を掲示しながら)

課題

18×3の計算のしかたを考えよう。

お金などの図



まとめ

18×3の計算は、位ごとに計算してから合わせる。

8 × 3 = 24	18
10 × 3 = 30	× 3
24 + 30 = 54	-----
	24
	30
	54

2. 事前検討会での話題

【算数的活動】

- ・ひっ算の計算手順を意識した考え方
- ・お金などの具体物を用いた考え方

【表現活動】

- ・お金などの具体物を活用した子と筆算を用いて考えた子の関連を図れるような板書構成
- ・繰り上がりを意識した説明を引き出す

【かかわり合い】

- ・課題把握に支える (場面を共通理解)
- ・問題解決を支える (図と計算の関連)
- ・定着を支える (類似問題での適用)

上記3つのポイントでのかかわり合いを本時の1時間の中で意識して行う。

(文責 北海道教育大学附属札幌小学校 高橋 健一)

4年生の授業

1. 大会授業の概略

- (1) 授業者 伊丹 奈央 (岩見沢 東小)
- (2) 単元名 「わり算の筆算(2)」
- (3) 本時の概略 (9時間目/13時間扱い)

問題

体長□cmのカエルが□cmとび上がりました。
とび上がった高さは体長の何倍でしょう。

<体長2cmのカエルが6cmとび上がる場合>

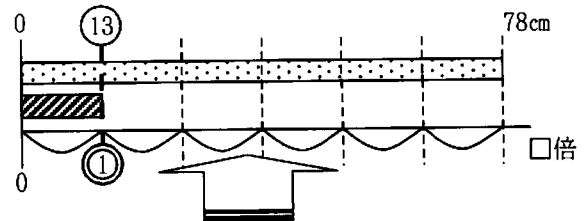
- ・2cm × 3 = 6cmだから3倍!
- ・何倍 ⇔ いくつ分

<体長13cmのカエルが78cmとび上がる場合>

- ・何倍かな? すぐには分からない...

課題 何倍かを求める方法を考えよう。

- ・テープ図で
- ・□倍としてかけ算で
- ・13を足していけば...
- ・わり算で



• 13 + ... + 13 = 78 • 13 × □ = 78

- 13 × 78 = ???
- 13 ÷ 78 = ???

• 78 ÷ 13 = 6 (倍)

もし、もっと大きな数だったら...?

とび上がった高さは カエルの体長の 何倍か?

ある数 ÷ もとにする数 = △倍

2. 事前検討会での話題

- ・図や式での表現活動にイメージが伴うよう、解決方法の見通しをもつ段階から、問題場面を視覚的にとらえられるようにしたい。
- ・紙テープを用意するなどして、書き表すことが苦手な子にも算数的活動を保障していく。
- ・友達とかかわり合う中で見えてくる考えの共通点や相違点、既習とのつながりなどを、板書を用いて整理し、2量の間にある倍の関係とわり算を結びつけていきたい。

(文責 札幌市立手稲中央小学校 村上 友宏)

3、4年生(複式)の授業

1. 大会授業の概略

- (1) 授業者 辻脇 志郎 (岩見沢 メール小)
- (2) 単元名 3年生「三角形」
4年生「四角形」
- (3) 本時の概略 (2時間目/11時間扱い)

【3年】	【4年】
問題 ジョイントバーを使って、三角形や四角形をつくりましょう。	
三角形は3本でできるよ。できない組み合わせもありそう。	正方形をつぶしたら、ダイヤ形になったよ。形が固定しないなあ。
課題 できた形を仲間分けして名前をつけましょう。	
<ul style="list-style-type: none"> ・同じ色の仲間 ・つぶれた三角形 ・とがった三角形 	<ul style="list-style-type: none"> ・正方形や長方形 ・長方形が傾いた形 ・山の様な形 (山型)
<ul style="list-style-type: none"> ・中間のもの (直角二等辺三角形) はどっちにいれよう? 	<ul style="list-style-type: none"> ・山型にも平行なものも平行ではないものもありそう。
<ul style="list-style-type: none"> ・一色三角形 (正三角形) ・二色三角形 (二等辺三角形) ・三色三角形 (一般三角形) 	<ul style="list-style-type: none"> ・正方形や長方形 ・ダイヤ型 ・斜め長方形 (平行四辺形) ・山型 (台形) …
まとめ 辺や直角で考えることで、名前をつけられたよ。	

2. 事前検討会での話題

- 図形の仲間分けをするときの観点を、算数的活動の中から、どのように子どもから引き出すか。
- ・3年生は、ジョイントバーの色をイメージすることで辺の長さでの弁別になりやすい。
 - ・4年生は辺の長さではなく、「平行」というキーワードを引き出したい。そのための教師の手立てとは何か。
 - ・「平行が入った四角形を作りましょう。」という課題の方が意識付けさせやすいが、仲間分けさせるといふ表現活動の中で、形での仲間分けの曖昧さを考えさせることで、平行に着目させていくことができるのではないか。
 - ・複式らしい授業ではないが、3、4年生のかかわり合いも見られる交流場面を構成できるのではないか。
(文責 札幌市立北光小学校 末原 久史)

5年生の授業

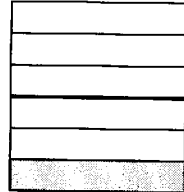
1. 大会授業の概略

- (1) 授業者 有村 宏紀 (岩見沢 東小)
- (2) 単元名 「分数の大きさとたし算、ひき算」
- (3) 本時の概略 (1時間目/6時間扱い)


問題 ジュースが2リットルあります。このジュースを6人で分けます。一人分は何リットルでしょう。

分ける…わり算だ $2 \div 6 = 0.3333\dots$ 分数だ!

リットル図を使って考えよう!

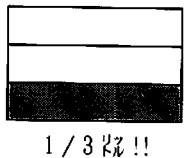


1/6 リットルだ!



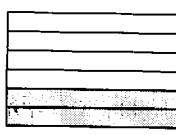
2/12 リットルだ!

1 リットルで考えると?! あれ?! 答えが2つ?!




1/3 リットル!!

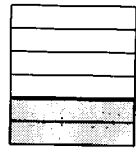
分数のひみつを見つけよう!



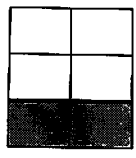
2/6 リットル!!



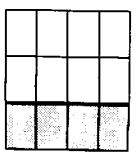
1/3 リットル!!



2/6 リットル!!



4/12 リットル!!



4/12 リットル!!

同じ大きさの分数はたくさんあるんだ!

2. 事前検討会での話題

- ・子どもたちが自分で解決した「一人分のジュースの量」を、リットル図を用いた自分の表現方法で説明し合う算数的活動を通して、割合分数ではなく量分数で考えるというねらいが達成されると考える。
- ・1リットルを基にして考えることによって、1/3リットルと2/6リットルの「表現は違う」のに、「大きさは同じ」という分数の性質である本時の価値を、子どもたちが見出していけるようなかかわり合いを組んでいきたい。
(文責 札幌市立白楊小学校 黒澤 智美)

6年生の授業

1. 大会授業の概略

- (1) 授業者 渥美 マリ (岩見沢 東小)
- (2) 単元名 「単位量あたりの大きさ」
- (3) 本時の概略 (8時間目/13時間扱い)

問題

新幹線ひかり号は552kmを3時間で走りやまびこ号は348kmを2時間で走りました。どちらの新幹線が速いでしょうか。

課題

速さの比べ方を考えよう。

まとめ

「時間」や「距離」をそろえると、速さを比べることができるね。

2. 事前検討会での話題

- ・子どもたちは既習を生かして、主に「数直線」という表現方法を用いながら算数的活動を行うと考えられる。
- ・ともすると、「1時間あたりの距離」という考えだけに偏ってしまいがちだが、「1kmあたりの時間」との比較を通して、子どもたちのかかわり合いを深めていきたい。
- ・「時間」と「距離」の比較の際には、様々な表現方法の「考え方」に着目し、共通点や相違点を明らかにしていきたい。
- ・授業の後半には評価問題を行い、学習内容の定着を図りたい。
- ・表現される数から「どちらが速いか」を考えさせ、その根拠を明らかにしたい。また、どちらの表し方が日常生活や自分たちの感覚に適するかを判断させ、その上で「速度=距離÷時間」を知らせていきたい。

(文責 札幌市立日新小学校 宮崎 英子)

6年生の授業

1. 大会授業の概略

- (1) 授業者 櫻田 和也 (岩見沢 幌向小)
- (2) 単元名 「単位量あたりの大きさ」
- (3) 本時の概略 (3時間目/14時間扱い)

問題

次の等速運動は、どちらの速さが大きいでしょう。
物体Aは、15秒間に60cm進む。
物体Bは、3秒間に15cm進む。

課題

どうすれば比べられるかな。

<他の問題でも比べてみよう>

まとめ

「時間」か「距離」のどちらかをそろえると速さを比べることができそうだ。

2. 事前検討会での話題

- ・単元を「速さ」から導入し、学習を展開していきたい。導入時には算数的活動を通しながら、「速さ」の概念を明確化していく。特に、「同じ速さで動くことにより、未来を予想できる。」というよさを感じさせ、これから学習する「速さ」を意識づけしていきたい。
- ・速さの比べ方を考える際は、既習事項や今までの生活経験をもとに、それを関連づけて「かかわり合い」を組織していく。
- ・「時間」と「距離」のどちらに着目しても、そこで表現される数値はどれも速さという量を代表しているものであるから、どの方法でも比較できることを意識づけたい。
- ・評価問題を行い、考えをより確かなものにする。

(文責 札幌市立北都小学校 森井 厚友)

第64回 北海道算数数学教育研究大会 空知・岩見沢大会

【領域・課題分科会 発表者・発表内容・担当委員 一覧】

	発表者 (○：指定発表)	発表内容	担当委員
数と計算 I	○小形 紀子 (札幌 伏見小) ・長尾 孝明 (滝川 滝川第一小) ・中嶋 利啓 (滝川 東小) ・竹田奈緒子 (訓子府 訓子府小)	・ブロック操作と式をつなぐ活動から求差の理解を深める授業 ・つながりのある授業を目指して ・「数学的な考え方」を大切にしたり算の授業 ・学ぶ喜びが感じられる授業を目指して	運営 末原 久史 (札幌 北光小) 司会 矢澤 研 (札幌 白楊小) 記録 高橋 謙介 (札幌 札苗緑小) 記録 小島 哲 (札幌 新琴似緑小) 助言 池田 英司 (札幌 円山小校長) 助言 西村 聡 (空知教育局義務教育指導班指導主事) 助言 生田裕美子 (札幌 北陽小教頭)
数と計算 II	○阿部 美幸 (札幌 山鼻小) ・三重 綾子 (札幌 北小) ・馬場真理子 (岩内 岩内中央小) ・阿部 光宏 (旭川 東五条小)	・数直線を積極的に活用しながら計算方法を自ら見いだす子ども ・表現力の育成を目指した授業づくり ・子どもたちが学び合い、高め合う学習を目指して ・問題解決の過程を通して「数学的な見方や考え方」を育てる授業	運営 村上 友宏 (札幌 手稲中央小) 司会 加瀬 富久 (札幌 附属札幌小) 記録 栗山 達史 (札幌 山の手養護) 記録 瀧ヶ平悠史 (札幌 日新小) 助言 廣崎 司 (小樽 最上小校長) 助言 藤吉 晃 (札幌 屯田西小校長) 助言 野村 幸明 (札幌 太平小教頭)
量と測定	○保坂 大樹 (函館 深堀小) ・長嶋 義博 (新十津川 新十津川小) ・谷村 和美 (旭川 向陵小)	・「およそ」でとらえることよさに気づかせる授業 ・知識・技能を活用する力を高める学習指導 ・学び合いを高める伝え合う場の充実を目指した授業	運営 黒澤 智美 (札幌 白楊小) 司会 渡辺 英明 (札幌 北九条小) 記録 中屋 圭子 (札幌 有明小) 記録 和田 敬介 (札幌 平岡公園小) 助言 長田 一芳 (美瑛 美沢小校長) 助言 田中 賢一 (北海道教育庁義務教育課指導主事) 助言 木村 聡 (札幌 屯田南小教頭)
図形	○古川 知志 (札幌 附属札幌小) ・宮中 千恵 (滝川 西小) ・遠藤 隆典 (小樽 桜小)	・図形の見方を変えていく3年生の円の学習 ・夢中になって取り組める課題設定や活動の工夫 ・手触りと定義で図形感覚を磨く！	運営 島貫 静 (札幌 東苗穂小) 司会 平野 亮子 (札幌 幌南小) 記録 梨木 正人 (函館 東山小) 記録 長谷 亜紀 (札幌 百合が原小) 助言 水島 誠治 (札幌 旭小校長) 助言 石原 学 (網走教育局義務教育指導班指導主事) 助言 木津 和彦 (札幌 厚別北小教頭)
数量関係	○西澤 裕行 (札幌 宮の森小) ・江藤 仁志 (岩見沢 栗沢小) ・土屋佳津子 (美唄 東小)	・主体的にかかわり合い、考えが深まっていく授業を目指して ・日常生活に根ざした授業を目指して ・どの子どもも楽しくわかる授業を目指して	運営 高田 洋史 (札幌 藻岩小) 司会 庄司 直美 (札幌 南白石小) 記録 齋藤 良樹 (寿都 潮路小) 記録 佐々木武志 (札幌 百合が原小) 助言 森定 久 (白老 社台小校長) 助言 笹森 英世 (札幌 白石小校長) 助言 鈴木富士雄 (教職大学院准教授)
学び方	・小川 晃弘 (幌延 幌延小) ・角銅 隆 (岩見沢 日の出小) ・金川 一代 (富良野 富良野小) ・西村研究室 (江別 北翔大学)	・「思い」を豊かに表わそうとする子どもの育成 ・確かな学力を身につけ、主体的に学び合う子どもの育成 ・単元計画を踏まえた算数的活動の充実 ・思考力・表現力を育む数・図形のコーチング	運営 高橋 健一 (札幌 附属札幌小) 司会 関根 基樹 (札幌 南白石小) 記録 吉田 裕司 (石狩 新篠津小) 記録 古川 郁恵 (札幌 厚別北小) 助言 鈴木 寿弘 (斜里 朱円小校長) 助言 丸田 俊行 (札幌 稲穂小校長) 助言 筒井 義博 (札幌 羊丘小教頭)

第64回北海道算数数学研究大会 空知・岩見沢大会

研究主題

豊かな心を育てる算数教育

思考力・表現力を育む問題解決学習 ～算数的活動を今一度見直して～

大会日程

研究大会第1日目 10月8日(木曜日)

…岩見沢市立東小学校

- 受付 13:00～13:25
○特設公開授業 13:25～14:10

学年	単元名	授業者
1	ひきざん	中川克彦
2	かけ算	関口清吾
3	かけ算の筆算(1)	沢泰宏
4	わり算の筆算(2)	伊丹奈央
3・4 複式	3年…三角形 4年…四角形	辻脇志郎
5	分数の大きさとたし算、ひき算	有村宏紀
6	単位量あたりの大きさ	渥美マリ
6	単位量あたりの大きさ	櫻田和也

- 開会式 14:30～14:50
○授業分科会 14:50～16:20

研究大会第2日目 10月9日(金曜日)

…岩見沢市まなみーる

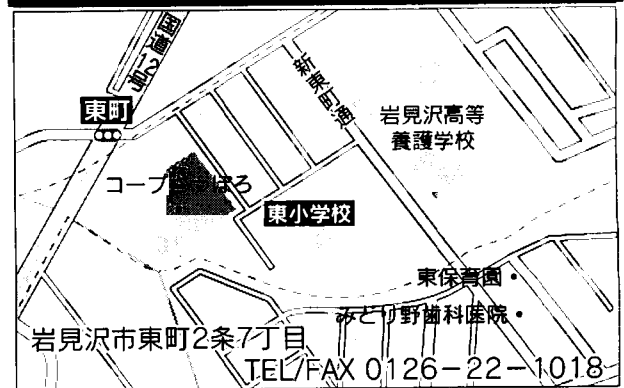
- 受付 9:00～9:20
○開会式 9:20～9:50
○講習会 9:50～11:50

・演題 算数的活動で大切にしたいこと
～全国学力・学習状況調査をも見ながら～

・講師 金本良通氏
(埼玉大学教育学部 東京学芸大学大学院 教授)

- 部会交流会 11:50～12:20
○昼食 12:20～13:30
○領域・課題分科会 13:30～16:00
・数と計算Ⅰ
・数と計算Ⅱ
・量と測定
○閉会式 16:00～16:10

アクセス



大会参加費

当日、会場で納入していただきます。

- 研究大会参加費…4,000円
(初任者研修参加者と学生は2,000円)
□研究紀要・領域・課題別発表資料代…1,500円
■合計…5,500円
(初任者研修参加者と学生は3,500円)

アクセス



講習会参加費

講習会参加希望者は別途必要です。

- 講習会参加費…1,000円

申し込み・お問い合わせ

小学校部会事務局長 田中 秀典 (札幌市立澄川小学校長)
〒005-0005 札幌市南区澄川5条4丁目1-1
TEL(011)821-1141 FAX(011)821-1142